

他団体と連携、協力・社会連携

国際交流とSTEM教育の機会

マイクロン財団、マイクロテクノロジー社の協力により、世界で活躍する女性リーダーとの交流会を実施。参加した13人のガールスカウトがロールモデルである女性リーダーに会い、多くの刺激を受けました。10月には国際ガールズ・デー特別イベント「Girls × Technology ～テック・ガールズが世界を変える～」を実施。また、3月の「第5回国際女性会議WAW! / W20」では、STEM教育のワークショップを開催し、39人のガールスカウトがプログラミングやAIについて学びました。



歩く国際協力を通して 途上国の少女を支援

(公財) ケア・インターナショナル ジャパンが主催する歩く国際協力「Walk in Her Shoes 2018」キャンペーンには、全国から43人の高校生ガールスカウトがジュニア・アンバサダーとして活躍しました。国際女性デーに開催されたイベントでは7人の中高生ガールスカウトが、ボランティアスタッフとして参加。途上国の少女の毎日を体験するプログラムの提供を手伝いました。



ワコール「ツボミスクール」

少女たちが思春期の心やからだを正しく理解し、健康で美しい女性になってほしいという(株)ワコールの取り組みに、ガールスカウト(小学4年～中学生)と、母親、リーダーが参加しています。

インターネットを活用した情報の発信

地域の活動グループがSNSを活用し、活動を紹介しています。



Instagram



ブログ



日本連盟では、「ガールスカウトの日」の活動や、野外活動、国際的な活動の写真を集約し、紹介しています。また、ハッシュタグキャンペーンを3回実施し、幅広い年代のガールスカウトと考える機会を作りました。2018年度は新たにブログ、Instagramを開始。ガールスカウトにまつわるさまざまなことや、日ごろの活動を分かりやすく紹介しています。

日本のガールスカウト運動100周年記念事業の取り組み

2020年、日本のガールスカウト運動は100周年を迎えます。

コミュニティアクション チャレンジ 100 アワード

少女と女性の視点に立ち、社会を良くするプロジェクト「コミュニティアクション チャレンジ 100」。2019年1月からは「コミュニティアクション チャレンジ 100 アワード」とし、広く一般に周知、募集を開始しました。2018年度は66件のプロジェクトが終了しました。



全国で一斉に「ありがとうの輪」

5月22日の「ガールスカウトの日」を中心に、全国各地でイベントを開催。普段の活動を体験できるイベントや、地域での社会貢献活動などを通して「ありがとう」の輪を広げています。



Girl Scouts Activity Report



ガールスカウト活動報告 2018.4 ▶ 2019.3

51 万人

これは2018年度にガールスカウトの活動を伝えた人の数です。ガールスカウトは「社会とつながる」ことを意識し、地域の人々と共に、よりよい社会にするためにチャレンジし続けます。ガールスカウト運動は2020年に100周年を迎えます。2018年度の活動報告と、100周年に向けての取り組みを紹介します。



わたしが変わる。未来が変わる。

ガールスカウトは少女と女性の視点に立って、より幸せな社会と未来の実現を目指し、リーダーシップを発揮できる人材を育成するとともに、社会に変化をもたらすチェンジエージェントとして行動します。



2020年
日本のガールスカウト運動は
100周年を迎えます。

公益社団法人 ガールスカウト日本連盟

〒151-0066 東京都渋谷区西原1丁目40番3号
TEL.03-3460-0701 FAX.03-3460-8383
E-mail: gsj@girlscout.or.jp
URL: www.girlscout.or.jp

ガールスカウト 検索



Facebook



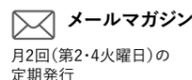
Instagram



KIZUNA Line
防災・減災
プロジェクト

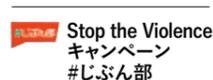


Twitter



メールマガジン

月2回(第2・4火曜日)の
定期発行



Stop the Violence
キャンペーン
#じぶん部

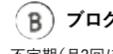


LINE

ID

「@girlscoutsofjapan」

「ガールスカウト」で検索



ブログ

不定期(月2回ほど更新)

公益社団法人ガールスカウト日本連盟

2018年度の主な活動・取り組み

仲間を広げる・つながる



ガールスカウトの活動は成長に合わせてテーマがあり、いくつになっても学ぶことができます。ガールスカウトは一生を通して経験できる生涯学習—journeyです。体験型のプログラムを通して「自ら考え行動できる女性」「責任ある世界市民」を育てています。NGOや企業、地域の団体と連携しイベントやワークショップを実施、グローバルな経験や地域に根付いた活動を展開しています。国内47都道府県に4万人、世界150の国と地域に1千万人の仲間がいます。

チカラをつける・行動をおこす

多岐に渡るプログラムから学ぶ

プログラムに取り組み、現代社会の課題について考え、知識、チカラをつけました。



2030年に向けて世界が合意した「持続可能な開発目標」です

Stop the Violence (STV) キャンペーン

ジェンダーによる性差別や暴力をなくし、人権を尊重するための教育プログラム (Voices Against Violence プログラム) の普及に取り組んでいます。高校生・ユース年代のガールスカウトが、ハッシュタグキャンペーン「#自分のことは自分が決める」やワークショップ「#じぶん部 ジェンダー×わたし」などのプログラムを通して、女性の活躍を阻む社会問題について考えました。デートDVについても学び、少女たちがキャンペーンをおこなっています。



若いリーダーたちの活動

#じぶん部

高校生ワークショップ「#じぶん部 ジェンダー×わたし」を開催し、社会課題を自分ごととして捉え、行動できるよう取り組みました。

#じぶん部



Free Being Me

メディアや周囲からの容姿についての刷り込みに惑わされず、ありのままの自分を受け入れることで自己肯定感を高めるプログラム。可能性を最大限に伸ばし、さまざまなことにチャレンジできる女性を増やします。国際ガールズ・デー (10月) には保護者向けのワークショップを実施し、子どもへの声のかけ方や自分自身を見つめなおす体験を提供しました。

※ガールガイド・ガールスカウト世界連盟とDOVE (ダヴ) が協働開発したプログラムです。



TAKE ACTION FOR GIRLS CAMP

メディアから強い影響を受けている容姿への固定観念に気づき、原因となっている根本にあるものを変えるために声を上げるにはどうしたらよいかを考えました。(参加者高校生年代33人)



SPEAK OUT FOR GIRLS CAMP

社会や自分の中にある無意識のジェンダーによる差別や暴力について気づき、解決に向けて行動できるためのスキルを学び行動を起こしました。(参加者高校生年代31人)



防災・減災への取り組み「めざせ防災マイスター」

いつおこるか分からない自然災害に備え、2016年から「防災マイスタープログラム」を展開しています。災害時に慌てずに対応できるよう、テキストを使いながら防災の知識や災害時のスキルを学びました。



自分たちが住むまちの防災と安全を考える

自分が住んでいるまちを探検しながら防災、防犯、交通安全を視点に、施設や設備を発見する(一社)日本損害保険協会の「小学生のぼうさい探検隊マップコンクール」に参加し、地域の一員として防災意識を高めました。



まちのぼうさいキッズ賞受賞 (奈良県第22団)

ピースプロジェクト

Greener × Greener II

私たちが住んでいる地域の環境を知り、地球を守るさまざまな取り組みをしています。

地球環境を守るための活動

「グリーンチャレンジデー」

持続可能な開発のための教育 (ESD) を広げる取り組みに協力。私たちの行動が及ぼす地球への影響について参加者と共に学び、伝えました。



グローバルな視野、リーダーシップを培う

国際的なイベントやワークショップを通してリーダーシップを学ぶ機会を提供し、少女や女性の可能性を広げました。

GIRLS CHALLENGE CAMP

キャンプを通し、現代社会で生きぬくためのコミュニケーション力、問題解決力、自ら考える力、リーダーシップを身につけました。(参加者高校生年代33人)



Japan International Youth Event 2019

世界連盟からの講師2人と、日本のユース年代4人がファシリテーターとなり、プログラムは全て英語でおこなわれました。イベントには日本、海外から40人が参加しました。4泊5日の研修を通しグローバルな視点を持ったリーダーとして社会に変化をもたらすチカラを養いました。



日本とミャンマーの協働プロジェクト Reach Out Project 2018

日本とミャンマーのユース年代の女性たちが互いの国を行き来し、ワークショップ「性と生殖の健康と権利」を実施。ミャンマーでは700人を越える少女に出会い、そのうち350人がワークショップに参加し知識を得ました。



指導者の育成とスキルアップ

ガールスカウトの指導者は、定期的な研修会や勉強会を通して、よりよい指導ができるように研鑽を重ねています。

- 養成したガールスカウトの指導者：1587人
- 開催した指導者研修会：329回

『子どもの保護と安全に関する成人会員ガイドライン』

ガールスカウト日本連盟は、子どもの命と心を守るためのガイドラインを設けています。子どもたちが安心安全な環境で活動できるよう努めるとともに、人権尊重への理解を深めるよう働きかけています。

VOICES AGAINST VIOLENCE (VAV)

プログラム指導者研修会

人権を尊重し、ジェンダーの平等について学ぶ参加型プログラムを実施することができる指導者を育成しています。ワークショップを通して、家庭内暴力やセクシャルハラスメントなどについて、人権という視点で考えます。全国7カ所で研修会を実施し、ガールスカウト会員外も含めた147人の指導者が誕生しました(累計889人)。

※ガールガイド・ガールスカウト世界連盟と、UN Womenが協働開発した教材を用いています。

